

2019年度  
(令和元年度)

# 学校関係者評価報告書

(自己評価を基本にした学校関係者評価)

2019年12月

学校法人日本ホテル学院  
専門学校日本ホテルスクール

# 2019年度 学校関係者評価報告書

## 1、はじめに

学校法人日本ホテル学院が運営する専門学校日本ホテルスクールは、学校評価に関する関連法令に基づき、2018年度（平成30年度）の自己評価を基本にした学校関係者評価を実施いたしましたので、ここにご報告致します。

学校関係者評価は、学校自らが選任した教育関係者、業界関係者、卒業生、保護者等の学校関係者が、学校が実施した「自己評価」の結果について評価することを基本として行う評価で、評価結果はホームページに公表いたします。

本校といたしましては、学校関係者評価の結果を踏まえ、今後も学校関係者と連携・協力し、学校経営、学校運営の更なる改善と教育の質の向上に努めて参ります。

## 2、学校関係者評価について

### (1) 定 義

学校関係者評価は、生徒・卒業生、関係業界、関係団体、教育業界、保護者・地域住民などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価です。

### (2) 目 的

本校の自己評価結果の客観性、透明性を高めるとともに、本校と密接に関係する学校関係者の理解促進や連携体制による学校運営の更なる改善を図ることを目的とします。

### (3) 評価のポイント

- ①自己評価結果の内容は適切か。
- ②自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は適切か。
- ③学校の重点目標や評価項目等は適切か。

### (4) 評価期間

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）

### (5) 評価結果の公表

- ①評価結果や今後の改善方策等を取りまとめ公表。
- ②評価結果は次年度の学校運営や教育活動等について具体的に改善を図る。

## 3、学校関係者評価委員会について

### (1) 主な活動内容

- ①自己評価の実施状況と結果についての確認

- ②学校関係者評価委員としての評定、集計結果、意見・コメントについて
- ③改善意見、助言
- ④教育環境施設等の視察、確認

(2) 学校関係者評価委員会の構成 (委員、学校教職員)

①学校関係者評価委員 6名

(順不同、敬称略、2019年11月1日現在)

氏名	所 属	役職	任期
宇都宮 護	元東京大学教育学部附属中学校・高等学校	副校長	2017.10.1～ 2020.9.30
渡辺 淳	全国語学ビジネス観光教育協会	事務局長	2018.11.1～ 2021.10.30
大堀 貴弘	一般財団法人日本ホテル教育センター	事業本部長	2017.8.1～ 2020.7.31
赤澤 儀一	専門学校日本ホテルスクール同窓会	副会長	2017.8.1～ 2020.7.31
田中 俊彦	専門学校日本ホテルスクール同窓会	副会長	2017.8.1～ 2020.7.31
菊野 哲二	専門学校日本ホテルスクール同窓会	監事	2017.8.1～ 2020.7.31

②学校関係者評価教職員 4名

石塚 勉	専門学校日本ホテルスクール	理事長・校長
武内 悟	専門学校日本ホテルスクール	教育部長
片岡 衛	専門学校日本ホテルスクール	法人広報室
黒須 健二郎	専門学校日本ホテルスクール	経営企画室 本委員会事務局

#### 4、基準

- 基準1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準2 学校運営
- 基準3 教育活動
- 基準4 学修成果
- 基準5 学生支援
- 基準6 教育環境
- 基準7 学生の募集と受入れ
- 基準8 財 務
- 基準9 法令等の遵守
- 基準10 社会貢献・地域貢献

## 5、学校関係者評価委員会の開催状況

- (1) 日 時 : 2019年12月4日(水) 15時～16時30分
- (2) 場 所 : 専門学校日本ホテルスクール 第一会議室
- (3) 参加者 : 学校関係者評価委員及び学校教職員
- (4) 議題・内容 : 今年度の自己評価の実施と結果について  
学校関係者評価の評価集計結果について  
学校関係者評価の確認、改善点、評価決定  
その他意見交換、質疑応答

## 6、自己評価結果に対する学校関係者評価委員の評価(平均点)

### (1) 評価点(平均点)

自己評価の評価項目に照らして、学校関係者評価委員が点数化し、その平均値(平均点)を記載した。点数の区分(内訳)は以下の通り。

- 4点: 適切(実施)
- 3点: ほぼ適切(概ね実施)
- 2点: やや不適切(少し実施)
- 1点: 不適切(未実施)

### (2) 委員の意見・要望

学校関係者評価委員の意見・要望等を各基準毎(評価項目毎)に記載した。  
また、現状や今後の改善、取組み事項を記載した。

## 7、評価項目の状況

評価項目の基準1から基準10までの各委員からの評価の平均値及び意見、コメントは次の通り。

## 【基準 1】教育理念、目的、人材育成像

評価項目	評価の平均値
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4.0
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4.0
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4.0
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.3

### 【意見・要望等】

- 学校としての教育理念、目的、人材育成像が明確である。
- 理念・目的・人材育成は業界をリードしている。今後も時代に適合した運営を継続して欲しい。
- 社会状況の変化に伴うニーズが変動する中、個々の学生の必要な基礎知識と実習による技能等の向上、業界の育成人材のため、学校の理念や目的、育成人材の姿を基本とし、今後もさらなる教育活動を実践して頂きたい。
- 教育理念が明確で、専門学校としての人材育成像にぶれがないのは、大いに評価できる。  
企業実習、海外研修、海外留学制度など、これからの日本の観光業界を担うグローバルな人材育成に期待が持てる。
- 社会のニーズは流動的であり、難しい部分もあるが、相応に対応すべく情報収集に努めている。

### 【改善、取組み事項】

- 全体的に概ね適切に実施されている。  
学校経営・運営全般に関する中長期計画の策定、学校の魅力の向上、再構築に取り組む。

## 【基準 2】学校運営

評価項目	評価の平均値
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3.8
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.8
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4.0
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	4.0
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	2.8
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3.7
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.7

### 【意見・要望等】

- 適宜問題なく運営されており、引続き目的に沿った教職員による組織運営・法令遵守等の整備に努められるようお願いしたい。
- 長期、短期の事業計画等が明確であり、教職員に周知されていると思う。
- 人事考課が適切に実施されていることは評価できる。
- 自己評価に何らかの工夫が図れればと思う。
- 60歳以降の就業について、更なる発展を目指して欲しい。
- 理事会、評議員会を定期的（又は臨時）に開催し、最終意思決定を実行している。
- 人事・給与制度は教職員全体に関わることなので、更なる制度内容の充実を期待したい。
- ペーパーレス化を少しずつでも進める必要性があると思われる。
- Pマーク取得が今後の課題と思われる。

### 【改善、取組み事項】

- 学校運営全般については概ね適切に実施されている。
- 学校組織体制の強化、機能化、規程等の更なる整備を図る。
- 人事・給与制度の充実、ペーパーレス化、Pマーク取得等については、状況や実態を見つつ適切に検討し対応する。

### 【基準3】教育活動

評価項目	評価の平均値
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.0
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.8
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.7
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.7
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3.8
3-9-4 授業評価を実施しているか	4.0
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4.0
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4.0
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4.0
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.8
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.2
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.8
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3.8

#### 【意見・要望等】

- 学生本人の必要とする職性・有効な資格取得の助成に取り組まれており、今後もさらなる学生のための外部意見の活用、指導資質の向上等教育環境整備に努めて教育活動を続けて頂きたい。
- 教育理念に沿った、教育カリキュラムが整備されていることは大いに評価できる。
- 教職員の資格取得、活用に学校全体として更なる充実に取り組んで欲しい。
- 非常勤講師はそれぞれの分野の専門家であり不可欠な存在であることから、協力体制、モチベーションの更なる向上に努めて頂きたい。
- 教育課程の編成において、次年度に向けたシラバス（年間授業計画）の更なる早期整備を期待する。
- 教員においては、ホテル・ブライダル運営・経営に関する資格保有者の増加を望む。

#### 【改善、取組み事項】

- 教職員に対する組織的な研修の実施は、職業実践専門課程の要件の一つでもあり、自己啓発に取り組む教職員に対する支援の充実を含め、能力の向上、開発を推進する。
- 今後も教育課程編成委員会等を通じて、企業等の外部関係者との連携を強化し、教育課程の編成、人材育成、キャリア教育の充実を図る。

### 【基準4】学修成果

評価項目	評価の平均値
4-13-1 就職率の向上が図られているか	3.8
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	3.8
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.2

#### 【意見・要望等】

- 社会状況が変化中、グローバルな人材育成を目的とし、今後も学生の職業育成や進路就職のため教育環境策定に努めて、更なる改善、ご指導をして頂きたい。
- 就職率向上に向けての指導体制は大いに評価される。
- 卒業後のキャリアプランも含めて、卒業生の離職状況などの実態を掌握する体制を整えて欲しい。
- 就職率100%継続を目指して頑張ってもらいたい。
- 卒業後の状況把握が若干不十分などがあると思われる。卒業生の増加に伴い、作業的に大変ではあるが不断の調査、追跡が求められる。

#### 【改善、取組み事項】

- 毎年度、卒業者に占める就職者の割合を高めることが重要であり、今後も継続する。
- 退学率の低減は毎年の課題であり、クラス担任の対応力向上、教職員の連携・協力が不可欠である。
- 卒業生の状況把握について、担任及び同窓会事務局が中心となって可能な限り情報の収集に努める。

## 【基準5】 学生支援

評価項目	評価の平均値
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4.0
5-17-1 退学率の低減が図られているか	3.2
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3.8
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	3.8
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4.0
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.7
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4.0
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	4.0
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	4.0
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3.8
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2.8
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.0

### 【意見・要望等】

- ホテル業界に限らず、ホスピタリティ全般の情報収集を行い、学生及び卒業生のスキルアップ、活動支援を強化して頂きたい。
- 学校で学んだ専修性の高い知識、資格の習得等を目指し、学生個々の将来の目標、就職後の本人の希望を含めて、進路相談、就職支援体制の整備等のさらなる取組み、ご指導をお願いしたい。
- 学生支援の体制は、きめ細かく行われていると思う。
- 学生寮の充実などは、住居環境の整備、経済的支援からも大いに評価される。
- 退学者の低減は健全な学校運営において重要な課題である。担任を中心にした横断的な対策が不可欠である。委員会組織による、退学要因の分析、資料の保存、蓄積などが重要と思われる。
- 学生数から見て、保健室（休養室）の整備・充実が望まれる。
- 留学生は今後増加傾向が予想され、様々な対策が必要と思われる。
- 産学連携による卒業後の再教育プログラムについては、制度・プログラム化が必要である。

### 【改善、取組み事項】

- 学生支援の諸活動は、全体的に概ね適切に実施されている。
- 学生支援全般は、多岐にわたる対策、支援が必要となるため、学校全体として、また関係部署を中心に今後も整備を図っていく。
- 学生の心身の健康管理については状況確認に努める。特に精神面に関する重要な情報を見逃すことがないように細心の注意をはらう。



## 【基準6】教育環境

評価項目	評価の平均値
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・用具等を整備しているか	3.8
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4.0
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.2
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.8

### 【意見・要望等】

- 海外での実習体験が多く選択され、また海外との交流を通して、一層の学生の国際感覚育成、人材交流等実施されていますが、学校の施設、設備等の学校全体の教育環境の整備も引き続きお願いしたい。
- ホテル実習制度、海外研修制度ともに充実しており、学生の職業観の育成に大きな役割を担っている。
- 防災に対する備えには限界があるが、近隣住民を取り組んだ、組織体制が必要と思われる。

### 【改善、取組み事項】

- 防災に関する体制の整備、備えを図り、緊急時の通報や対応、避難、誘導などを想定し、実効性のある体制構築を目指す。

## 【基準7】学生の募集と受入

評価項目	評価の平均値
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4.0
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	4.0
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4.0
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.2
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4.0
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4.0

### 【意見・要望等】

- 学生の保護者への理解と安心を感じて頂けるよう、研修提携ホテルには、安価な学生・保護者特別宿泊プランを設けて頂き、ご家族でホテル業務の実際の現場を見ていただく機会策定も良いかと思う。
- 学生募集に関しては、活動が充実しており成果を上げていると思う。
- 入学辞退者への対応は適切に行われていると思う。

○辞退理由などの分析を常に行い、より良い学生募集に役立ててほしい。

**【改善、取組み事項】**

○今後も学校の特色、教育内容、制度等の情報公開を適切かつ適正に行い、入学志願者の皆様をはじめ関係者に対して、学校情報を正確、丁寧、確実に伝えることが重要である。

**【基準 8】 財 務**

評価項目	評価の平均値
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4.0
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4.0
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4.0
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4.0
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4.0
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4.0

**【意見・要望等】**

○ホームページでの情報公開は、適正な学校運営を明確にしている。

○社会状況の急激な変化の中、学校環境への影響も厳しいと思われる。少子化、大学進学率の向上等により、学生数の確保も課題であり、短期、中長期計画の策定などにより、財務基盤の安定化を図って頂きたい。

○財務状況に関する情報公開は十分に為されており、大いに評価されると思う。

今後とも、健全な財務運営が望めると思う。

**【改善、取組み事項】**

○事業計画及び予算の策定については、綿密な諸計画の下実施し、年度途中の月次予実管理、年度見直し、財務分析等を確実にし、適正な管理体制で行うことが重要である。

**【基準 9】 法令等の遵守**

評価項目	評価の平均値
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.8
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.8
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4.0
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	4.0

9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4.0
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4.0

【意見・要望等】

- ホームページでの情報公開は、適正な学校運営を明確にしている。
- 学校の情報開示は適正であり、引続き法令遵守のための運営、継続的な対策と改善に努めて頂きたい。
- 法令を遵守し適切な学校運営がなされていると思う。
- 自己評価の実情を積極的に開示している事は評価される。
- 個人情報の管理、セキュリティ対策は更に充実してほしい。

【改善、取組み事項】

- 今後も関係法令の遵守に努め、適正かつ健全な学校経営・運営を目指す。
- 自己評価及び学校関係者評価ともに、教育の質の保証といった観点を重視し、更なる改善、工夫を図り内容の充実を図ることとする。
- 自己評価項目については、ホテル専門学校としての教育内容や職業実践専門課程に関する学校独自の評価項目の策定を検討する。
- 教育に関する情報公開は、今後もわかりやすく正確、丁寧な情報提供に努め、変更等に伴う更新が必要な場合は迅速かつ適切に行うよう努める。

【基準 10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

評価項目	評価の平均値
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.2
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	4.0
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.0

【意見・要望等】

- 学生にとって社会や地域に根ざした交流の機会は、貴重な経験となり、社会人としての礎となるので、今後も継続して取り組んで頂きたい。
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックのボランティア活動も授業の一環として受け入れて頂ければ、良い機会と経験になることと思う。
- 昨今の社会情勢から、学校を取り巻く地域社会との連携は重層性を増している。防災面を含めて、日頃からの連携、組織作りが必要と思われる。
- 学生のボランティア活動も社会のニーズに応じて、奨励して行く必要があると思われる。

ホテル実習、授業面などとの兼ね合い、学外取得単位の認定など、色々な課題があると思われる。

**【改善、取組み事項】**

- 社会貢献、地域貢献は重要な取組みと認識し、ボランティア活動のガイドラインを整備することを検討する。

以上

2019年度 学校関係者評価報告書

**学校法人日本ホテル学院 専門学校日本ホテルスクール**

〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14

TEL 03-3360-8231 (代表) FAX 03-3360-8584 <https://www.jhs.ac.jp>